


|  |  |
|--|--|
|  <p>千葉開府<br/>Road to<br/><b>900</b><br/>since 1126</p> | <p>平成30年10月17日<br/>教育委員会事務局 学校教育部<br/>【教科等の指導、今後の取組等に関わること】<br/>教 育 指 導 課<br/>電話 245-5936 内線2521<br/>【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】<br/>教 育 セ ン タ ー<br/>電話 285-0900</p> |
|--|--|

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

千葉市教育委員会では、平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の実施と内容

- (1) 調査実施日  
平成30年4月17日(火)
- (2) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数  
小学校111校 第6学年児童 8,075名、中学校55校 第3学年生徒 7,532名
- (3) 調査内容

#### ア 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

| 主として「知識」に関する問題(A問題)  | 主として「活用」に関する問題(B問題)  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |

#### イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査   | 学校に対する調査  |
|--|---|
| <p>学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査<br/>(小学校62項目・中学校59項目)</p> | <p>指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の状況に関する調査<br/>(小学校：84項目、中学校：81項目)</p> |

### 3 調査結果概要について

#### (1) 教科に関する調査結果

##### ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率(%)と千葉市全体の結果(別添概要のp.1~p.3)

| 小学校<br>第6学年 | 国語A      | 国語B      | 算数A      | 算数B      | 理科       |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
|             | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) |
| 千葉市         | 71       | 54       | 64       | 52       | 62       |
| 全国          | 71       | 55       | 64       | 52       | 60       |
| 千葉県         | 70       | 53       | 62       | 51       | 61       |
| 指定都市        | 71       | 55       | 64       | 52       | 61       |
| 全国との比較      | 0        | -1       | 0        | 0        | 2        |

| 中学校<br>第3学年 | 国語A      | 国語B      | 数学A      | 数学B      | 理科       |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
|             | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) | 平均正答率(%) |
| 千葉市         | 76       | 62       | 65       | 47       | 67       |
| 全国          | 76       | 61       | 66       | 47       | 66       |
| 千葉県         | 76       | 61       | 64       | 46       | 65       |
| 指定都市        | 76       | 62       | 67       | 48       | 67       |
| 全国との比較      | 0        | 1        | -1       | 0        | 1        |

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

## イ 本市の調査結果に見られる特徴

### ① 平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学校国語は、A問題は同等、B問題は1ポイント下回る。算数は、A・B問題ともに同等である。理科は、2ポイント上回る。中学校国語は、A問題は同等、B問題は1ポイント上回る。数学は、A問題は1ポイント下回り、B問題は同等である。理科は、1ポイント上回る。
- ・千葉県の平均正答率と比較して、本市の小学校・中学校ともに、いずれの教科（国語、算数・数学、理科）・問題区分（A問題・B問題）において、同等か上回る。
- ・平成20年度からの悉皆調査8回の経年比較をすると、小中学生ともに全体的な傾向として全国の平均正答率との差は縮まり、ほぼ同等となっている。

### ② 正答数の分布（別添概要のp. 4～p. 5）

- ・小学校・中学校ともに、国語、算数・数学、理科いずれの教科・問題区分（A・B問題）において、全国とほぼ同等の分布を示している。

### ③ 市内学校A・B問題平均正答率の相関分布と経年推移（別添概要のp. 6～p. 9）

- ・小学校国語は、A・B問題のどちらかに課題がある学校が増えたと考えられる。小学校算数は、A・B問題ともに課題がある学校が若干増えたことが分かる。
- ・中学校国語は、点の分布が比較的原点の付近に集まっているが、中学校数学は、中学校国語に比べ、点の分布がやや広がり、学校により、基礎的な知識の定着に差があることが推測される。

## (2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要のp. 10～p. 18）

### ア 「自分には、よいところがあると思う、どちらかといえばそう思う」

児童→82.3%（全国84.0%より1.7ポイント低い）80%を超えたのは初めて

生徒→77.3%（全国78.8%より1.5ポイント低い）70%を超えたのは初めて

### イ 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見る、時々見る（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）」

児童→88.6%（全国86.2%より2.4ポイント高い）

生徒→86.7%（全国86.6%より0.1ポイント高い）

### ウ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

児童→33.4%（全国29.3%より4.1ポイント高い）「全くしない」は3.2%（0.7ポイント高い）

生徒→40.7%（全国36.4%より4.3ポイント高い）「全くしない」は6.1%（1.2ポイント高い）

### エ 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→58.2%（全国61.0%より2.8ポイント低い）

生徒→53.7%（全国53.8%より0.1ポイント低い）

### オ 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→66.9%（全国74.4%より7.5ポイント低い）

生徒→61.0%（全国68.7%より7.7ポイント低い）

### カ 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」

児童→52.6%（全国62.7%より10.1ポイント低い）

生徒→39.2%（全国45.6%より6.4ポイント低い）

#### 4 別添概要に公表されている図表一覧

- (1) 問題別平均正答率一覧(%) [全国・千葉県・大都市・千葉市] <平成20～30年度>
- (2) 教科別経年比較グラフ [全国・千葉市] <平成20～30年度>
- (3) 正答数分布 [全国・千葉市] <平成30年度>
- (4) 市内学校A・B問題平均正答率の相関分布図<平成29・30年度の比較>
- (5) 全国平均正答率との差異から見る各学校の経年推移表<平成29・30年度の比較>
- (6) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取組事例<経年推移の比較から>
- (7) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <平成30年度>
  - [自己肯定感、将来の夢や目標に関する意識]
    - ・自分には、よいところがあると思うか
    - ・将来の夢や目標を持っているか
    - ・人の役に立つ人間になりたいと思うか
  - [社会に対する興味・関心]
    - ・新聞を読んでいるか
    - ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見るか
  - [家庭での学習に関する意識]
    - ・家で、自分で計画を立てて勉強をしているか
    - ・家で、学校の授業の予習・復習をしているか
    - ・授業時間以外の学習時間
    - ・授業時間以外の読書時間
  - [主体的・対話的で深い学びに関する意識]
    - ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思うか
    - ・自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思うか
    - ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか
  - [地域との関わりに関する意識]
    - ・地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会があったか
    - ・今住んでいる地域の行事に参加しているか
    - ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか
    - ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがあるか

#### 5 今後の取組

- (1) 児童生徒の確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進する。そのために以下のような取組を行う。
  - ア 市内全小・中学校において、全国及び千葉市学力状況調査の結果等をもとに自校の学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けた学力向上アクションプランを作成する。アクションプランは全職員で共有し、検証と修正を重ねながら実践に取り組み、次年度以降の学力の向上に生かす。
  - イ 各教科の改善策や指導のポイントを示した「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善に向けて」を作成し、各学校に配布して、校内研究での活用を図る。
- (2) 「教育だよりちば」やWebサイト等を通して、家庭学習の大切さや家庭での児童生徒の望ましい生活習慣の在り方を広く保護者に発信する。
- (3) 児童生徒が、これまで以上に各教科や領域において、地域の様子を調べたり、地域の人と関わったりする学習を進めるよう学校に助言する。

#### 6 公表日及び公表方法

- (1) 公表日  
平成30年10月17日(水)
- (2) 公表方法  
市ホームページ  
【URL】 <http://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>